

# (3) 交通安全事業の着実な推進について

主要地方道亀山白山線（亀山市）



国道42号（伊勢市）



菰野町 竹成・永井地区



# 1. 主な交通安全対策の概要

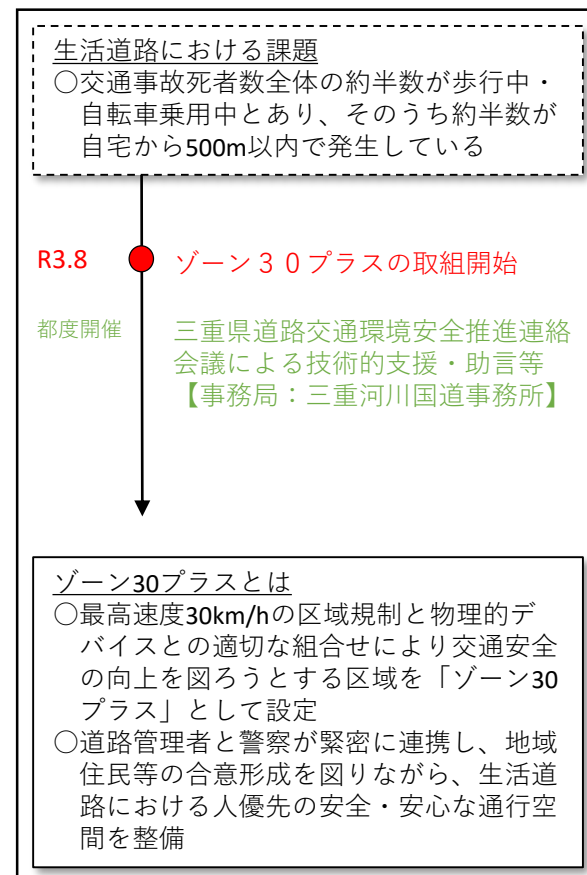
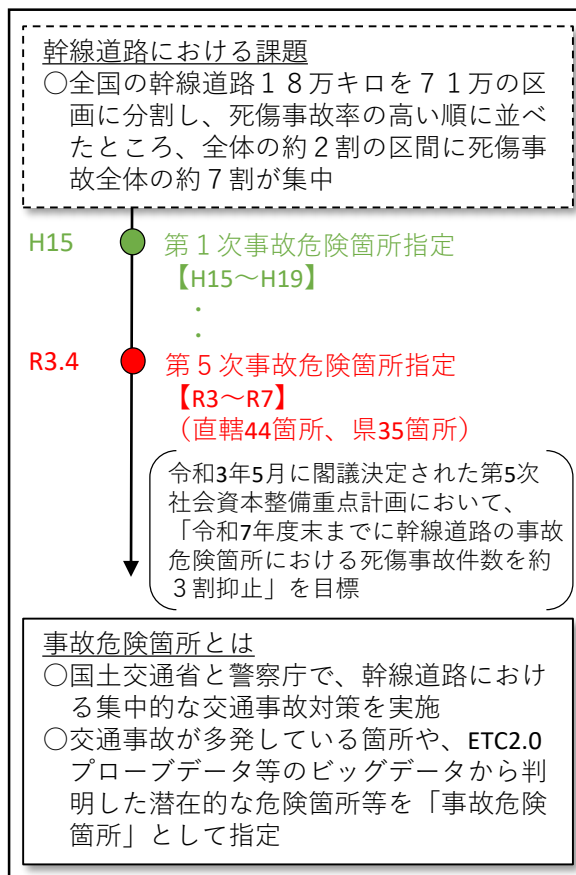
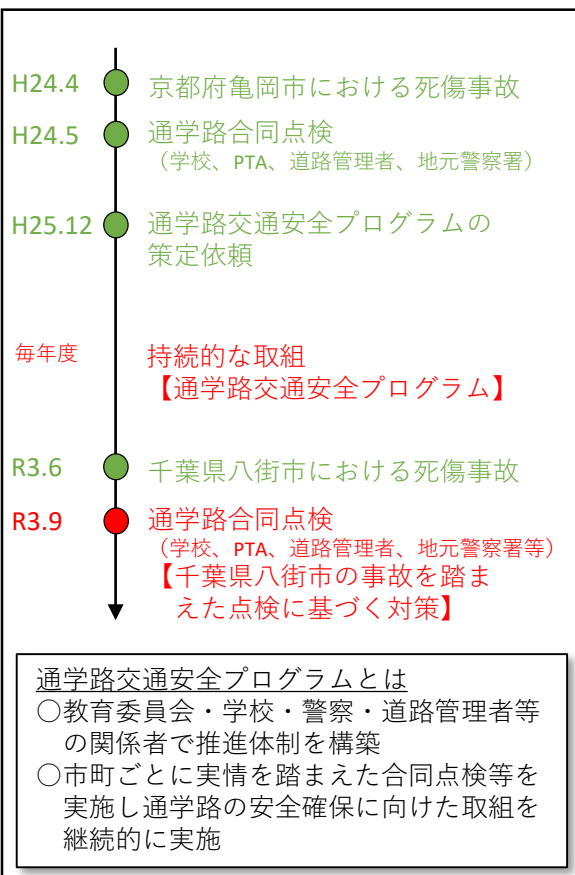
交通安全事業の着実な推進について

## 道路交通の安全対策

### 通学路等の交通安全対策

### 幹線道路の交通安全対策

### 生活道路の交通安全対策



# 2. 通学路における交通安全対策

交通安全事業の着実な推進について

## (1) 通学路合同点検※

※千葉県八街市の事故を踏まえて  
R3.7～10に点検実施

千葉県八街市の事故を踏まえた通学路合同点検に基づく対策箇所について「交通安全対策補助事業(通学路緊急対策)」や「防災・安全交付金」を活用し対策を推進

対策箇所の視点

- ・ 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道など、車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所
- ・ 過去にヒヤリハットの事例があった箇所
- ・ 保護者等から改善要請がある箇所

主要地方道亀山白山線（亀山市）

ガードパイプ



一般県道藤大三停車場線（津市）

路面標示



|                           | R3年度                          | R4年度                  | R5年度                      |
|---------------------------|-------------------------------|-----------------------|---------------------------|
| 要対策箇所<br>(県管理道路)<br>228箇所 | 合同点検実施<br>完成<br>51箇所<br>(22%) | 完成<br>+161箇所<br>(93%) | 完成(予定)<br>+16箇所<br>(100%) |

## (2) 通学路交通安全プログラム

通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所について「交通安全対策補助事業(地区内連携)」や「防災・安全交付金」を活用しPDCAサイクルで継続的に対策を推進

対策箇所の視点

- ・ 道路が狭い
- ・ 見通しが悪い
- ・ 人通りが少ない
- ・ 人が身を隠しやすい場所が近い
- ・ 大型車が頻繁に通る



主要地方道四日市鈴鹿環状線（鈴鹿市）

歩道整備



|                                           | ～R3年度                | R4年度                 | R5年度                    | R6年度～      |
|-------------------------------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|------------|
| 要対策箇所<br>(県管理道路)<br>309箇所※<br>※R3.3時点の箇所数 | 完成<br>233箇所<br>(75%) | 完成<br>+53箇所<br>(93%) | 完成(予定)<br>+8箇所<br>(96%) | 残り<br>15箇所 |

千葉県八街市の事故を踏まえた合同点検や通学路交通安全プログラムの対策箇所について、関係者と連携しながら交通安全対策を推進しています。

## (3) 第5次事故危険箇所(35箇所)

### 幹線道路における事故危険箇所対策

令和4年3月に第5次事故危険箇所に指定された三重県内79箇所(県管理道路35箇所)の事故の危険性が高い箇所に対して、道路管理者と警察が連携しながら交通事故防止対策を推進(事業期間 令和3年度～令和7年度)

国道42号(伊勢市)

路面標示(注意喚起)



主要地方道伊勢磯部線(伊勢市)

中央分離帯(交差点部視認性確保)



国道306号(いなべ市)

路面標示(注意喚起)



一般県道千草赤水線(四日市市)

区画線(交差点部視認性確保)



|                                          | R3・R4年度             | R5年度                     | R6年度                     | R7年度 |
|------------------------------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------|------|
| 事故危険箇所<br>(県管理道路)<br>35箇所※<br>※第5次事故危険箇所 | 完成<br>20箇所<br>(57%) | 完成(予定)<br>+10箇所<br>(86%) | 完成(予定)<br>+5箇所<br>(100%) | —    |



対策後は、「三重県道路交通環境安全推進連絡会議」において、対策が完了している事故危険箇所の事後検証を行い、必要に応じて追加対策の検討を行っています。

幹線道路における事故危険箇所のほか、安全な道路交通環境の整備を推進しています。

## (4)ゾーン30プラス

### 生活道路における交通安全対策

歩行者・自転車が安全・安心に生活道路を利用いただけるよう、自動車の速度規制など交通事故削減に向けて道路管理者と警察及び地域とも連携しながら交通安全対策を推進

【市町の事例紹介】ゾーン30プラス

桑名市（修徳地区）



菰野町（竹成・永井地区）



## (5)その他の交通安全対策

### 信号のない交差点における交通安全対策

道路の中央に交通島を設け、信号のない横断歩道を2回に分けて横断することで、通学児童及び高齢者等の歩行者が安全に横断できるよう県警と連携した交通安全対策を県内で初めて実施

主要地方道宮妻峡線（四日市市）

二段階横断歩道



### 踏切道における交通安全対策

令和4年6月の「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」に基づき、国土交通省が指定する特定道路上（県管理道路）の踏切道において踏切手前及び踏切内において視覚障害者誘導用ブロックを順次設置予定

国道163号（津市）※津新町駅前



国道163号の津新町駅前の踏切において、踏切手前に視覚障害者誘導用ブロックを設置します。  
（令和5年度完成予定）

生活道路やその他の交通安全対策についても推進しています。